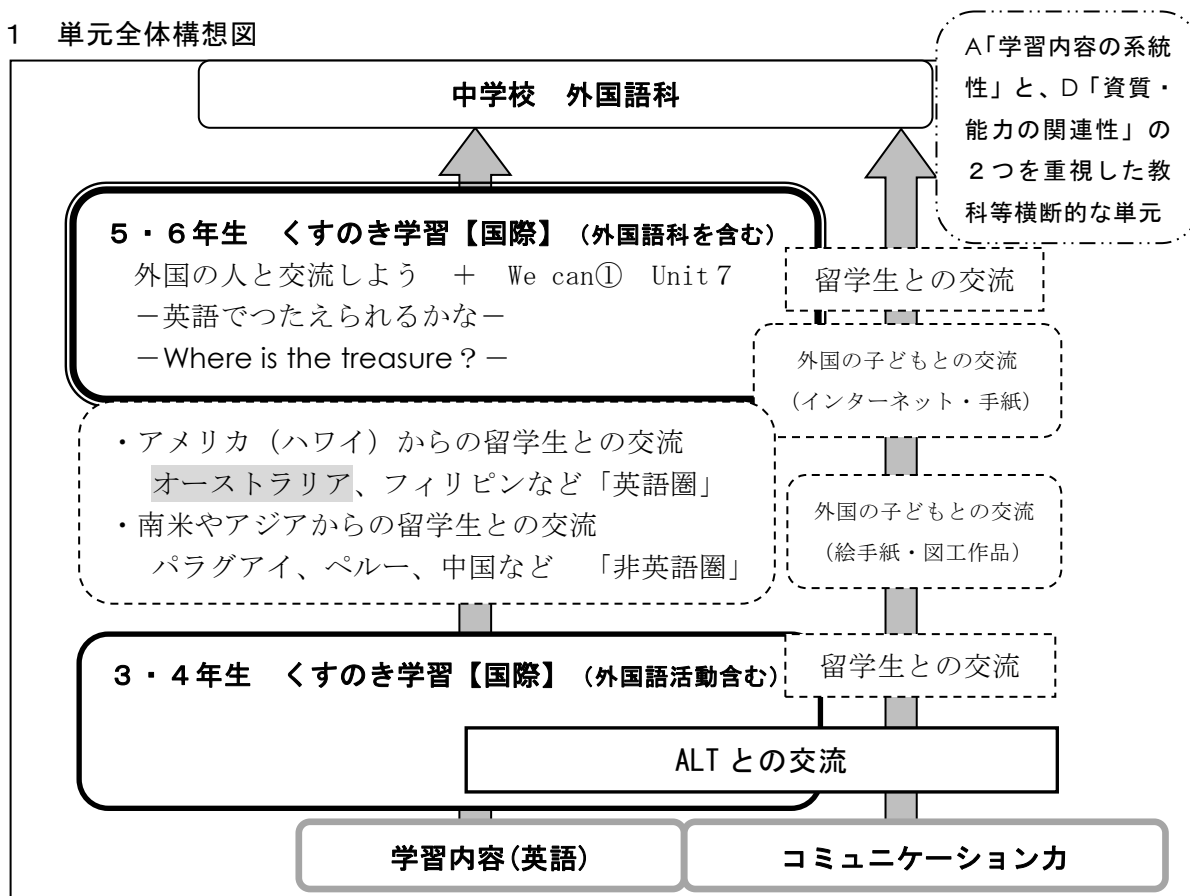


第5学年花組 くすのき学習【国際】（外国語科を含む）

「Unit⑦ Where is the treasure? -」

指導者 坂本 定生 川口ローラ

1 単元全体構想図



2 単元構想について

本単元は、A「学習内容の系統性」と、D「資質・能力の関連性」の2つを重視して構想している。外国語科の学習内容を生かすには、汎用的な資質・能力としてのコミュニケーション力を発揮する場の設定が重要である。くすのき学習【国際】として、オーストラリアをテーマに学習をすることで、外国語の学びが生かされるのではないかと考えて本単元を構想した。

そこで、本単元では、まずオーストラリアの小学校との交流学习を行う。インターネット回線を利用して、ゴールドコーストにある私立校セント・アンドリュースに通う子どもたちとスカイプでの交流を試みる。オーストラリアの子どもとリアルタイムで繋がることで、コミュニケーションによってしか学べない雰囲気の違いや楽しさなどを体験する。異文化コミュニケーションを通じて、オーストラリアと日本の共通点や相違点に気づき、自分の住む日本についての新たな認識が生まれることを期待している。

また、相手が英語を母国語とするオーストラリアであり、日本語を学習している子どもたちであるため互惠性も高い。子どもたちにとってオーストラリアは、地理的に遠く離れた南半球の国ではあるものの、時差が少なくリアルタイムで交流するのに適している。

本学級の子どもたちは、3・4年生のくすのき学習【国際】において、ALTの出身地であるカナダの文化や生活について学び、挨拶や数字、好きなことを表す簡単な英語表現を知ることができた。5年生の1学期には、米国イリノイ州からのゲストや、ハワイ州から来た留学生と直接会って交流し、実際に挨拶や自己紹介を体験することで異文化交流の楽しさやコミュニケ

ーションのよさを学ぶことができた。さらに、初めてのインターネットでの交流にも挑戦し、交流学習の緊張感や英語が通じた喜びや達成感を味わってきた。

そこで、今回のオーストラリアとの交流では、簡単な英語やジェスチャー、歌やクイズなどを使って、自分と同世代の子どもとコミュニケーションを楽しむことで、交流を通じた〈自己効力感〉の高まりを期待している。

そして、オーストラリアの動物園の地図や映像、動画などを活用しながら、アデレード動物園の探検に挑戦することで、コミュニケーション力を高めたいと考えている。

### 3 単元のねらい

- 外国の人や文化に興味を持ち、英語を用いながら外国の人と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。
- 友達と協力しながら交流学習を行うことで、学級の友達のよさを感じたり、オーストラリアの友達に互いに配慮し合ったりする交流のよさに気付く。
- オーストラリアの疑似体験を通じて、英語を用いた表現に慣れ親しむと共に、物の位置や場所を訪ねたり答えたりしながら、コミュニケーションを楽しむ。

### 4 単元の展開（全10時間）

場面	子どもの課題意識と主な学習活動	評価の規準	時間
出 合 い	<p>オーストラリアに手紙を書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ オーストラリアの場所や日本の季節の違いなどについて知る。</li> <li>○ オーストラリアの友達へ手紙を書いたり、自己紹介の練習をしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ALTの話聞いて、地理的な位置や季節の違いなどについて知る。</li> <li>● 英語を用いたコミュニケーションに挑戦し、交流の準備ができる。</li> </ul>	2
追 究	<p>オーストラリアに友達を作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ オーストラリアの友達に伝えるための発表練習をする。</li> <li>○ オーストラリアの友達に自分の名前や好きなこと等を伝え、楽しく交流する。</li> <li>○ 活動の振り返りを行い、2回目の交流計画を立て、見通しを持つ。</li> <li>○ 交流の準備やリハーサルを行いながら、交流の準備をする。</li> <li>○ オーストラリアの友達と2回目の交流をする。</li> <li>○ オーストラリアのアデレード動物園を探検しよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 名前や好きなことを英語で伝えようとしている。</li> <li>● オーストラリアの友達に、名前や好きなことを伝え、交流を楽しむ。</li> <li>● 自分の考えを伝えながら、協力して交流を計画しようとしている。</li> <li>● 交流の練習やリハーサルを意欲的に行っている。</li> <li>● 異文化交流を通して、英語の音声や表現に親しみ、コミュニケーションを楽しむ。</li> <li>● 英語の地図で位置や場所を調べたり、宝物を探したりしながら、コミュニケーションを楽しむ。</li> </ul>	7 本時 その7
振 り 返 り	<p>交流を振り返ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ オーストラリアの友達との交流を振り返り、次の交流学習や次時の学習に対する見通しを持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交流学習のよさを感じ、コミュニケーションについて、しっかり振り返ることができている。</li> </ul>	1

### 5 単元における指導と評価の工夫

場面	三つの場面ごとの指導と評価の工夫
出 合 い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同年代の子どもとの絵手紙での交流を通して、オーストラリアに興味を持たせることで、交流学習に対して期待感を持って取り組めるようにする。</li> <li>・ 英語指導については、ALTと協力してフォニックスの要素を取り入れた単語練習を行うが、無理なく自信を持って発話できるように配慮する。</li> <li>・ グループで活動することで、他グループの活動の様子を参考にしたり、仲間と協力して助け合ったりできるようにする。</li> </ul>

追 究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同じグループの仲間と協力しながら発話の練習ができる体制を作り、交流に必要な英語についてALTと協力して、うまく伝えられるように支援する。</li> <li>・ インターネット回線を利用して、オーストラリアに住む同年代の子どもたちとリアルタイムに交流し、英語やコミュニケーションに自信が持てるようにする。</li> <li>・ オーストラリアの友達との交流を生かし、もっと知りたい、英語が使えると楽しい気持ち大切に、コミュニケーションのよさを称揚する。</li> </ul>
振 り 返 り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流後に感想を聞いたり、振り返りシートに書いたりすることで、達成感を持たせ、異文化についての新たな気付きの自覚化を促すようにする。</li> <li>・ 異文化コミュニケーションの様子や、準備の過程を振り返ることで、友達や自分のよさに気付かせ、個人や集団としての成長を感じさせる。</li> </ul>

## 6 本時の授業（9／10）

- (1) 日 時 平成31年2月2日（土）9:20～10:05
- (2) 場 所 5年花組教室
- (3) ねらい 動物園の地図を基に、動物の展示場所を調べたり、友達と宝物の場所を伝え合ったりしながら、英語でのコミュニケーションを楽しむ。
- (4) 準備物 パソコン、大型モニター、スピーカー、振り返りカードなど
- (5) 展 開

学習活動	予想される子どもの意識の流れ	指導（○）と評価（●）
1 本時の活動を確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">今日の学習を確認しよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語で道案内をしよう。</li> <li>・ アデレード動物園の地図で探検しよう。</li> <li>・ オーストラリアの動物園には、どんな動物がいるのかな。</li> <li>・ サイモン・セッズでは、よく英語を聞かないといけないね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 板書の工夫等で、活動の見通しを持たせる。</li> <li>○ サイモン・セッズゲームを行い、雰囲気や和らげ、英語表現に慣れ親しませる。</li> <li>○ 動物の写真や動画を用いることで、動物園探検のわくわく感を高める。</li> </ul>
2 動物園を探検し動物について知る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">アデレード動物園を探検しよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道がまっすぐじゃないから、案内しにくいね。どうしたらいいのかな。</li> <li>・ 動物の名前の横の数字とアルファベットは何だろう。</li> <li>・ このシルエットはどんな動物かな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アデレード動物園の地図から、気が付いたことを話し合う。</li> <li>○ 数字とアルファベットで表す表現方法も扱う。</li> </ul>
3 宝物探しゲームで宝物の場所まで案内する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">宝物探しゲームをしよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宝物を探すゲームに挑戦しよう。</li> <li>・ 相手の宝物は何だろう？</li> <li>・ 英語をよく聞かないといけないな。</li> <li>・ 見付けたのはこんな宝物だよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ワークシートで宝さがしゲームを行う。（ペア）</li> <li>● 英語を用いて、宝物の位置や場所を伝え合いながら、コミュニケーションを楽しんでいる。</li> </ul>
4 活動の振り返りをする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">今日の活動を振り返ろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語で道案内ができるよ。</li> <li>・ 珍しい動物がいて楽しかったよ。</li> <li>・ ツリーカンガルーがかわいかったね。</li> <li>・ また、英語で道案内したいな。</li> </ul>	<p style="text-align: right;">[発言・観察]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 積極的なコミュニケーション態度について称揚し、自信を持たせる。</li> <li>○ 次時の活動への意欲化が図れるよう配慮する。</li> </ul>

## 7 評価の具体的な手立て

本単元では、くすのき学習【国際】の設定した〈自己効力感〉の高まった姿から、子どもの発言内容や行動観察、ワークシートへの記述により、以下の振り返りのポイントを基にして〈自己効力感〉の高まりを見取る。

### (1) 〈自己効力感〉の高まった姿と主な振り返りのポイント

〈自己効力感〉の高まった姿	主な振り返りのポイント	主な評価方法
○ 外国語（英語）の表現や、異文化を持つ人との出会いを楽しんでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同年代の子どもとの絵手紙での交流を楽しんでいる。</li> <li>・ オーストラリアに興味を持ち、交流学习に対して期待感を持っている。</li> <li>・ 挨拶や自己紹介の英語を、自信を持って発話している。</li> <li>・ 交流学习を楽しみ、次の交流の機会を楽しみにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 振り返りカード</li> <li>・ 発言内容</li> <li>・ 行動観察</li> </ul>
○ 集団としての学びを大切にしながら、異文化を持つ人々とつながり、交流で得られた再発見を楽しんでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループやクラスの友達と協力しながら異文化交流を楽しんでいる。</li> <li>・ 仲間と協力しながら英語の発話練習をしたり、交流で必要な英語について調べたり、聞いたりしている。</li> <li>・ インターネット回線を利用した交流学习によって、異文化についての新たな気付きを楽しんでいる。</li> <li>・ 交流学习を楽しんでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 振り返りカード</li> <li>・ 発言内容</li> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 相互評価</li> </ul>
○ 外国語（英語）をコミュニケーション手段の一つとして交流を楽しみ、そこで育まれたコミュニケーション力を、生活や他教科等の学習にも生かそうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語を用いたコミュニケーションを楽しみ、達成感を味わっている。</li> <li>・ 交流学习の経験から、異文化についてもっと知りたいと思っている。</li> <li>・ 次の交流学习では、もっとうまくコミュニケーションできると手応えを感じている。</li> <li>・ 異文化を持つ人と次も交流してみたいと感じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 振り返りカード</li> <li>・ 自由記述</li> <li>・ 発言内容</li> <li>・ 行動観察</li> </ul>

### (2) 振り返りシートによる自己評価の数値化

	評価の規準	評価
1	挨拶や自己紹介が英語でできたか。	(◎・○・△・×の4段階評価)
2	学級やグループの友達と協力して活動できたか。	(◎・○・△・×の4段階評価)
3	スカイプ交流を楽しめたか。	(◎・○・△・×の4段階評価)
4	次のスカイプ交流では、もっと上手にできそうか。	(◎・○・△・×の4段階評価)
<p>※ ◎を4点、○を3点、△を2点、×を1点として4段階で自己評価し、数値化すると共に、交流学习の前後など、単元の鍵となる学習の前後で数値を比較し、〈自己効力感〉の高まりを見取る。</p> <p>※ 友達のよさを記入する欄や自由記述を設ける。記述内容から子どもの気付きを明確化し、相互評価も合わせて行うことで評価の妥当性を高める。</p>		